

2 クビアカツヤカミキリの概要 《日本人の心である桜を食い荒らす昆虫》

サクラ、モモ、ウメなど主にバラ科の樹木に発生し、枯死させる特定外来生物

□ 景観の悪化等

幼虫が樹木の内部を食い荒らし、公園、街路樹、学校のサクラや果樹園のウメ・モモなどバラ科樹木の枯死、倒木等が発生する。

□ 凄まじい繁殖力

成虫は樹皮に最大1,000個近く産卵
(6月初旬～8月初旬)
車や鉄道に付いて生息地拡大

□ 県内発生状況

5市※で発生
※神戸、明石、西宮、芦屋、三田
令和4年6月 明石市で初めて発見



<成虫>



<幼虫>



<フ拉斯>

【特徴】

- 成虫の体長は約2～4cm
- 光沢のある黒色で胸部（前胸背板）が赤い。
- 幼虫は「フ拉斯」という木くずと糞の混じったものを木の外に出す。



<通報先>

成虫は
見つけたら、踏みつぶして、県に通報を！

- 成虫は、殺虫剤をかけるか、靴で踏みつぶして、すぐにQRコードから通報をお願いします。
(成虫が飛び立つと、生息地が拡大し、被害を広げてしまいます。)
- フ拉斯を見つけた場合にも、触らず同様に通報をお願いします。
(樹木に幼虫が生息していますので、退治します。)

<注意事項>生きたまま許可なく運搬してはいけません。（最高で個人の場合懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金）